



株式会社スタジオピボット
STUDIO PiVOT Co., Ltd.
会社案内2020

会社概要

社名	株式会社STUDIO PIVOT (STUDIO PIVOT Co., Ltd.)
所在地	〒153-0043 東京都目黒区東山2-1-1 オリエンタル東山第5ビル301
電話番号	03-6451-2705
FAX番号	03-6451-2706
設立年月日	1997年4月10日 (株式へ商号変更 2015年7月2日)
資本金	3,000,000円
代表取締役	平山 昌弘 (Masahiro Hirayama)
ウェブサイト	http://www.studiopivot.com/ info@studiopivot.com
事業内容	● スポーツトレーニング・動作解析を用いたフィジカルコンサルティング ● 乳幼児から高齢者までの「からだ教育」の啓蒙 ● 女性の心身サポート



Mission

人生のあらゆるステージに
ウェアアネスアナトミーを伝え
家族全員が笑顔になる世界を創る

Vision

乳幼児から高齢者まで、家族みんなで「からだ教育」を
話し合いできる環境作りを提案し、
心身の自己管理能力を、家庭で身につける習慣を啓蒙する。
「知覚」と「気づき」を用いて、
日常生活から「からだ教育」ができる環境作りを拡大する。

Value

- ◆ ヒトの生きる力を大切にする
- ◆ 知覚・気づきは自ら理解すること・ノーコントロール。
- ◆ カラダの無理・無駄・勘違いを互いに共有する。
- ◆ カラダ本来の状態に戻る・リフレームをナビゲーションする。

沿革

4月10日創立

有限会社ピボット

代表の平山が、旧ユーゴスラヴィアから帰国後、個人事務所として設立。スキー、ゴルフを始めとするスポーツのフィジカルコンディショニングを行い、選手帯同も行う。

1997

スポーツを超えたフィジカルコンサルティング開始

プロゴルファー、サッカーJリーグの選手のトレーニングと並行し、平山メソッド(後にアウェアネスアナトミーと名称する)をファッションと関連付け、ファッション誌での連載を多数持つ。

(フィガロ、エル、フラウなど・・・)

身体のプロフェッショナル(整体師、柔道整復師、理学療法士、アロマセラピスト、エステティシャンなど)の教育を開始。セカンドエデュケーションとしてアウェアネスアナトミーを展開。

2000-

2005-

AWARENESS ANATOMY®始動

2005年に原田優子が加入し、2009年、平山の構築したメソッドに

「アウェアネスアナトミー」と名称し、商標登録する。

2007年以降は、身体のプロフェッショナル向けの教育に「からだで感じる解剖学」を少人数制にて開講。

オイルクラスには「ユルメディトリートメント」と名称し、アウェアネスアナトミーの啓蒙と拡大に繋がる。

2007-

人材育成

エステティックスクールや、スパの人材教育(セラピスト、コンシェルジュ)を開始。機能解剖学を通じた身のこなし、「座る」「立つ」「歩く」を学ぶ研修プログラム開始。大手化粧品会社の社員研修、商材開発に貢献。

こどものからだラボ設立~からだ教育・啓蒙を開始

2011年より、乳幼児からのフィジカルサポートを開始。幼稚園で教職員・保護者・園児三者との取り組みを行う。

2011-

2015年7月2日

株式会社スタジオピボット
商号変更

2020年

ビジネスパーソン向け
からだ教育始動

エグゼグティブ向け、
企業社員研修を通して、
「からだ教育」をビジネス
パーソンに導入開始。

書籍で見るSTUDIO PiVOT

監修・執筆した書籍、教科書
10冊以上



平山昌弘

「魅せるカラダ」KKベストセラーズ刊行
「きれいになるボディデザイン」法研刊行
「顔やせ美顔塾」青春出版刊行

原田 優子

「骨盤底筋マジック」辰巳ムック刊行 ※一部監修
「いくつかになっても歩ける”股関節調整”」ブルー・ターム・ブリッジ 刊行
「リンパを整えてきれいになるやさしいストレッチ」成美堂出版刊行
新聞各地方誌にて「ゆるめて楽に股関節」12回連載掲載

執筆、寄稿した雑誌多数

マリークレール、フラウ、婦人画報、ハーパスバザー、ヴォーグ等



監修協力など多数

溝口葉子さん著

「からだ美調律」「お尻歩き骨盤リセット」協力
からだ美調律®メソッド構築サポート
アドバイザー育成教科書作成



ビジネスモデル・導入内容



カラダと繋ぐ取り組み

AWARENESS ANATOMY®ANALYZE

(AAA心身覚醒メソッド、からだで感じる解剖学、ユルメディメソッド)

AWARENESS ANATOMY® for Aromatherapy

(アロマスプレー販売)

AWARENESS ANATOMY® for ビジネスパーソン

(オフィス環境と体のインターフェイス、日常生活のQOL向上プログラム)



こどものカラダ取り組み

3歳からの足裏診断

(幼稚園年間プログラム、三者一貫のからだ教育、ASEAN支援プロジェクト)

子どもの為のアロマセラピー

(アロマセラピーテキスト販売、アロマスプレー利用、自律神経調整)

発々こどものからだ塾

(子どもの発育発達のサポート、小冊子：こどものからだ～コラム編～)

Vimeo, YouTubeにて動画配信中



女性のカラダ取り組み

カラダと靴のインターフェイス、ハイブランドシューズ

(カラダから見た靴選びプログラム、ハイヒールの履きこなし選び方の講座)

女性ホルモン周期、季節、気圧、月の暦によるカラダの変化

(小冊子：コロコロ変わるオンナのカラダナビブック)

私のカラダ・自律神経をクウネルアソブダスから知るレッスン

(自律神経のセルフコンディショニングプログラム)

Vimeo, YouTubeにて動画配信中

スポーツ関連導入例



ランニング

ランニングクリニックでは教えてくれない、体の使い方の個人差を解析し、フォームに反映する。特に、体の小さい日本人ランナーは筋トレで関節を故障しがち。高校生でランキングトップにいても、社会人になると低迷することが多いのは、筋トレの間違ったやり方が原因。AWARENESS ANATOMY®では、独自の解析方法で怪我の原因を探し出し、治療効果上がるトレーニングを行います。現在、日本代表クラス及び実業団トップクラスのコンディショニングを行う。

- フォーム修正～8割の力で走りきる。楽にゴールを目指す～
- ランナーに多い怪我や疲労を最小限に食い止める
- 楽に苦しさを感じさせないタイムアップ

ゴルフ

日本のゴルフ界に「股関節」の重要性を最初に唱えた第一人者。97年1月号のゴルフダイジェストでは、筋電図を用いた実験結果を掲載プロとアマチュアの体の使い方の違いを検証。股関節のストロークによって飛距離が伸びる、伸筋を使ったトレーニング法の開発。岡本綾子氏、芹沢大介氏、日下部光貴氏、桑原克典氏、D.石井氏など。

- フォーム修正～アライメント調整でのビフォーアフター
- フィジカルコンディショニング
- スコアアップ

サッカー

サッカー強豪国の欧米人の体に対し、筋トレをしがちだった日本人には、ドリブルやパスで身体をしなやかに切り返しをする能力が必要、と股関節周りの柔軟性とサッカーに応用した身体の使い方を開発。浦田尚希(元フロンターレ川崎)。現在、この理論を導入して、浦田選手が率いる埼玉の高校サッカー部にて、プログラムを導入中。

- パス、ドリブルなどの技術向上
- どんな体勢でもシュートをする能力を高める

スキー

旧ユーゴスラヴィア、ナショナルチームでの経験を基に、数々の実績を残す。87年に雑誌・スキーヤーに14ページにわたり、ユーゴスラヴィアチームのメダルに貢献したトレーニングを掲載。

ロック・ペトロヴィッチ(旧ユーゴ)のメダル取得やインゲマルグ・ステインマルクの復活に貢献。

- フォーム指導～アライメント調整でのビフォーアフター
- スピードアップ
- 怪我がなくなる、怪我からの復帰が確実となる。

こどものからだ・導入例



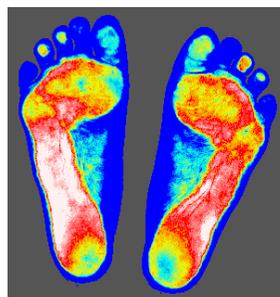
足裏診断～幼稚園での取り組み

スタジオピボットが実施している足裏診断では、立位時の姿勢から、足にかかっている体重の配分、重心、土踏まずの形状などから、身体の使い方を推測し、何か成長に滞りが起きていないか？などを見ていきます。

足裏には、脳に情報を送る感覚受容器が多く点在しており、足指の曲げ伸ばしができているか否かで、平衡感覚や空間認知力が備わっているかどうかなどを推測することができます。この足裏の感覚受容器（メカノレセプター）は、赤ちゃんの頃、寝返りの時くらいから、使われ発達していくものです。足指を曲げたり伸ばしたりして、感覚器官を発達させ、足裏でキャッチする床の状態が脳へと伝達され、運動の指令を出しています。

この指令がうまく届いていないお子さんは、運動の発達が遅めだったり、運動が苦手だったりするのですが、足指をきちんと動かせるようになると、劇的に運動に変化が表れ始めます。

また、3歳～6歳と経年変化を見ており、発達の個人差をみることができます。



足裏診断

土踏まずの有無

6歳までに8割程度の土踏まずができているのが目安。土踏まずの有無で、知能や運動能力の器が育っているかどうかを見る。土踏まずの形状にも注意をすることで、自律神経の切り替えができているかどうか判断できる。

足全体の形状

転びやすい、怪我をしやすい、成長痛を訴えるなどの症状が多く見られる場合には、骨盤や股関節の発達と運動量が適しているのかを見立てることができる。足の形状から、呼吸機能の低下もわかる。喘息の予防に効果的。

重心や形状の左右差

左右差が継続したり、怪我がなかなか改善しないなどの場合、足裏の重心や形状に大きく左右差が現れます。その左右差の原因を関節機能から判断し、改善プログラムを提案。



2016年～2017年
新聞地方各紙面にて掲載

宮崎日日新聞
静岡新聞
山陰新聞
山陰中央新報
高知新聞
河北新聞など

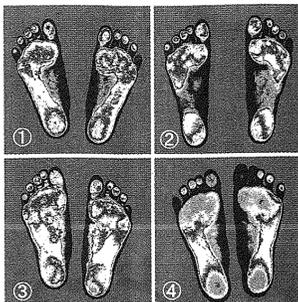
足裏から、子どもを見る

子どもたちの足裏の状態を専門家が定期的に測定し、その結果を、子どもたちの状態を理解するためのツールとして生かしている幼稚園がある。足裏の観察を通し、何が分かったのか。

神奈川県横須賀市の「ぎんなん幼稚園」ある男児(5)の「足裏カルゴ」を前に、フジカルナビゲーター原田優子さんがカウンセリング。足裏の接地が不安定だから、体全体に力が入っているのかもしれない。おうちでの様子はいかがですか？」と母親に話し掛けた。

カルゴに示されているのは、立ったときの足裏にかかる圧力の分布が分かる裏面像。圧力が高い方から白、赤、オレンジ、黄、緑、青と、色の違いで分かるようになっている。土踏まずの形成状況などが一目瞭然。この男児の足裏は、青っぽくなるはずの土踏まずの部分が、赤っぽく写っていた。

「お姉ちゃんがいましましたよね？ また足の関節が安定してないから、力を入れて踏ん張って一緒に遊ぼうとしているのかな」と原田さん。母親は「どうかも。



立ったときの足裏にかかる圧力の分布を表示した画像。①は5歳児としてはバランスが取れているが、②は土踏まずが高すぎて足裏の接地面が少ない「ハイアーチ」状態、③は土踏まずが崩れており、④は接地面がまばらで太ももなどに無駄な力が入っている可能性が高い

神奈川の幼稚園 定期的に測定 成育や精神状態把握

2歳の妹もいるし、私もこの子だけに向き合う時間もあんまりなくて……とぼつりぼつり。終了後、母親は「原田さんの話を聞くうちに、子どもの精神状態は体に表れやすいつとを知りました。それがすごく良かった」と話した。

同園が、プロスポーツ選手のフジカルコンサルタントも手掛ける「スタジオリポット」のスタッフ原田さんらに依頼して、全園児の足裏画像を撮り始めたのはこの10月。綴喜誠淳園長は、そのきっかけを「しっかりと体と心を育てよう」と、園では冬でもはだしで過ごさせてきました。その効果を科学的に裏付けたかったと説明する。

最初はデータを取るだけのつもりだったが、「先生にも子どもの体を見る目、変化に気付く視点が必要」と考えた。スタジオリポットに、足や足裏を軸に在園児の体の定期的なチェックや、先生の指導も依頼した。



原田優子さんによる「ママのためのからだ塾」。母親自身が体をほぐしゆるめることで、園児に良い影響が出ることは多いという(神奈川県横須賀市)

それから4年。「大きかったのは先生方の変化」と綴喜園長。落ちていて話を聞けない子どもに困り果てるのではなく、「睡眠不足？」など子どもものの体の状態から推測できるようになった」と言う。原因が推測できることの安心感は大きく、インテイクすることなく子どもに向き合えるようになった先生が増えた。

原田さんは「足裏に限らず、まずは心身の現状把握が大切。ケアは毎日のことなので、親御さんはずっと子どもの体を観察する習慣を持ってほしい」と話している。



真冬でもはだしで過ごす「ぎんなん幼稚園」の園児たち。ゴム跳びやケンケン、跳び馬など、昔の子どもたちがやっていた運動を積極的に取り入れ、全身を使って遊ぶ(神奈川県横須賀市)

こどものからだ・導入実績



◆ 幼稚園導入実績

- ・ ぎんなん幼稚園 (神奈川県・横須賀)
- ・ みのり幼稚園 (東京都・練馬)

その他、足裏測定・診断のみの導入実績多数

◆ 園児・職員足裏診断

◆ ママのためのからだ塾

◆ 職員向け、こどものからだ教育研修

◆ 小学生向けからだ教育

◆ 小学校PTA 講演会実績

- ・ 東京都世田谷区、神奈川県川崎市など

◆ ファミリーからだコンサルティング (タイ・バンコク、フィリピン・マニラ)

◆ 0歳からのからだ教育

- ・ 幼稚園・保育園中心に実施
- ・ 御茶ノ水教育カレッジ

その他、オンラインでも開講中



女性の心身サポート・導入実績



美脚リンパウォーキングレッスン

「おとなのからだ塾」でも展開中。足がむくまない、疲れずに歩けるようになる。美脚作りに特化したプログラム。

リンパを溜めない、デトックスする歩き方を作るメソッド。

- ヒールを履いてキレイに歩ける身体作り、
- スタイル改善、X、O脚の改善～股関節ストローク
- 姿勢がよくなる、疲れず、むくまない美脚作り

書籍：リンパを整えてきれいになるやさしいストレッチ、コロコロ変わる女のカラダナビブック

女性のためのこつばん塾

新宿朝日カルチャーセンターでも開催実績有りの人気セミナー。

女性ホルモンの活性化、手足の冷え改善、肌がキレイになる呼吸法、体が柔らかくなる骨盤調整など。

- 女性ホルモンと自律神経調整で楽な体に。
- こつばん塾独自の呼吸法、肋骨呼吸で肌が5歳若返る。
- 姿勢がよくなる、疲れず、むくまない美脚作り

書籍：いくつになっても歩ける股関節調整、骨盤底筋マジック

ママのためのからだ塾

幼稚園・小学校の保護者向けに展開中。

産後の体作りと発育発達過程の子どもの体の見方。更年期までのカラダ作り提案。

- 産後の骨盤底筋を整える。
- 子供の病気や発達をカラダから見る取り組み提案。「からだから見る育児」
- 育児の疲れを残さないカラダ作り。

書籍：こどものからだ事典～コラム編～、ママのためのからだ塾テキスト



感じなければ動かない ヒトの「知覚」こそ、動きに繋がる それが、AWARENESS ANATOMY®

「学生時代の経験が今に繋がった」

中学からやっていた陸上競技を大学まで続けて気づいたのは、大学の仲間にオリンピック選手がたくさんいて、「これには勝てない」と確信した。今も昔も、日体大には、オリンピック選手がいるのは、周知の事実。だからこそ気づけたと思っている。

「何故、怪我をするのか？そして繰り返すのか？」その探求が始まったのが、大学2年の時。中学時代からの恩師のご縁で、UCLAに訪問するチャンスができた。当時の日本には、スポーツトレーナーという職業は無く、日本にいても学べない、世界の舞台を見たい、知りたい、とアルバイトをして稼いだお金をつぎ込み、ロスアンジェルズに飛んだ。縁あって、UCLAのアメリカンフットボールのトレーナーの仕事を手伝わせてもらえる事になり、当時在籍していたフリーマン=マクニールと仲良くなり、後にTVで見て彼の活躍に驚いたのがこの前のようだ。この滞在が、体の勉強をしよう、トレーナーになろう、と思った最初の一歩となったのだ。

株式会社スタジオピボット
代表取締役

平山 昌弘 Masahiro Hirayama

アウェアネス・アナトミスト

1959年・東京生まれ。日本体育大学大学院修士課程修了(体力学専攻)。大学にてリサーチワークに従事した後、86年～90年旧ユーゴスラヴィア、ナショナルチームのオフィシャルスタッフとして、オリンピックやW杯のメダル獲得に貢献。

帰国後は、日本のゴルフ界に「股関節」の重要性を最初に唱えた第一人者として活躍。世界中へ選手帯同をする。

97年にSTUDIiO PiVOTを設立し、スポーツのみならず、独自の理論をAWARENESS ANATOMY®として提唱し、「ヒト」全てに共通する、動作解析から動きを改善する取り組みを拡大する。

身体に関わる専門家、モデルや俳優のポージングアドバイスなどを、オリンピックレベルの解析を使って指導を行う。2011年より、こどものからだ、2020年より、ビジネスパーソン向けに、AWARENESS ANATOMY®を展開。「からだ教育」として啓蒙。



女性の一生を心身から支える アウェアネス・ナビゲーター 自律神経×身体メカニズムを伝える

「子宮内膜症完治から気づいたこと」

24歳で子宮内膜症と診断され、ホルモン治療による副作用でパニック障害になる。そんな時に会った、アロマセラピーで、自分自身のメンテナンスが出来る事を知り、アロマセラピーを学ぶ。マザーズオフィスにて整体、アロマセラピーを学び、アロマセラピー講師として活躍するが、「方法論」という限界に疑問を抱いている時に、AWARENESS ANATOMY®の提唱者、平山と出会う。動きのメカニズムだけでなく、解剖生理学をリアルに自分自身のカラダに起きた不具合を、全て解明しながら学ぶことができた。テスト勉強の解剖生理ではなく、「いま、私のカラダに起きている事」を、全て実体験から学んでいった。そうすると、本来の機能通りにカラダが動き出し、子宮内膜症完治だけでなく、偏頭痛、腰痛、肩こりといった、不定愁訴全てがなくなる経験をする。腰痛の治し方ではなく、何故、腰痛になるのか？を学びながら改善を知る事になった。そして、「脚が細くなる」「肌が綺麗になる」という利益までもたらした。

株式会社スタジオピボット
取締役

原田 優子 Yuko Harada

アウェアネス・ナビゲーター・アロマセラピスト

1969年・埼玉生まれ。バンタンデザイン研究所卒後、アパレル企業→デザイン事務所に転身の後、自身の不調からアロマセラピーを学ぶ。1994年までマザーズオフィスに所属し、アロマセラピー講師として活躍。2005年よりSTUDI O PiVOTで平山のアシスタント

を経て、現在に至る。24歳で子宮内膜症に罹患し、その完治の背景に平山が提唱するAWARENESS ANATOMY®がある。

このAWARENESS ANATOMY®を基軸にした、ユルメディトリートメントを開発し、セッションやグループワーク、個別コンサルティングなどを通し、女性の一生を心身からサポートしている。2011年より、こどものからだラボの活動を開始し、「0歳からのからだ教育」を、幼稚園教諭、保護者に向けて啓蒙を開始。0歳からの高齢者までの足裏から見るフィジカルサポートを行う。主な著書「いくつになっても歩ける股関節調整」「リンパを整えて きれいになる やさしいストレッチ」などがある。